

在宅医療に必要な連携を担う拠点について

1. 兵庫県の動き

現在、兵庫県保健医療計画では、各郡市区医師会が「在宅医療に必要な連携を担う拠点」として位置付けられている。

今年度に入り、「地域の実情との乖離が指摘されていることから、市町や地域包括支援センター等も含め、地域の実態に応じた拠点の在り方について、令和8年度の保健医療計画中間見直しに向けて検討を進める」とされている。

(参考)

在宅医療に必要な連携を担う拠点においては、地域医療介護総合確保基金（医療分及び介護分）、地域支援事業交付金等を複合的・効果的に活用し、実施することが可能とされている。

(在宅医療に必要な連携を担う拠点の整備・運用に関するガイドブック第2版 引用)

2. 在宅医療に必要な連携を担う拠点ワーキンググループ委員名簿

神戸市医師会		久次米 健市
神戸市医師会		松尾 玲子
神戸市医師会（在宅療養支援診療所）		関本 雅子
真星病院（在宅支援病院（Ⅱ））		真保 友仁
神戸市歯科医師会		本庄 健一
兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会神戸ブロック		松嶋 夕子
神戸市薬剤師会		宮内 智也
神戸在宅医療・介護推進財団		森沢 知之
神戸市	福祉局介護保険課	坂本 文
	福祉局介護保険課	前田 和寛
	福祉局障害者支援課	水畑 明彦
	健康局保健課	宮澤 亮

(敬称略 五十音順)